

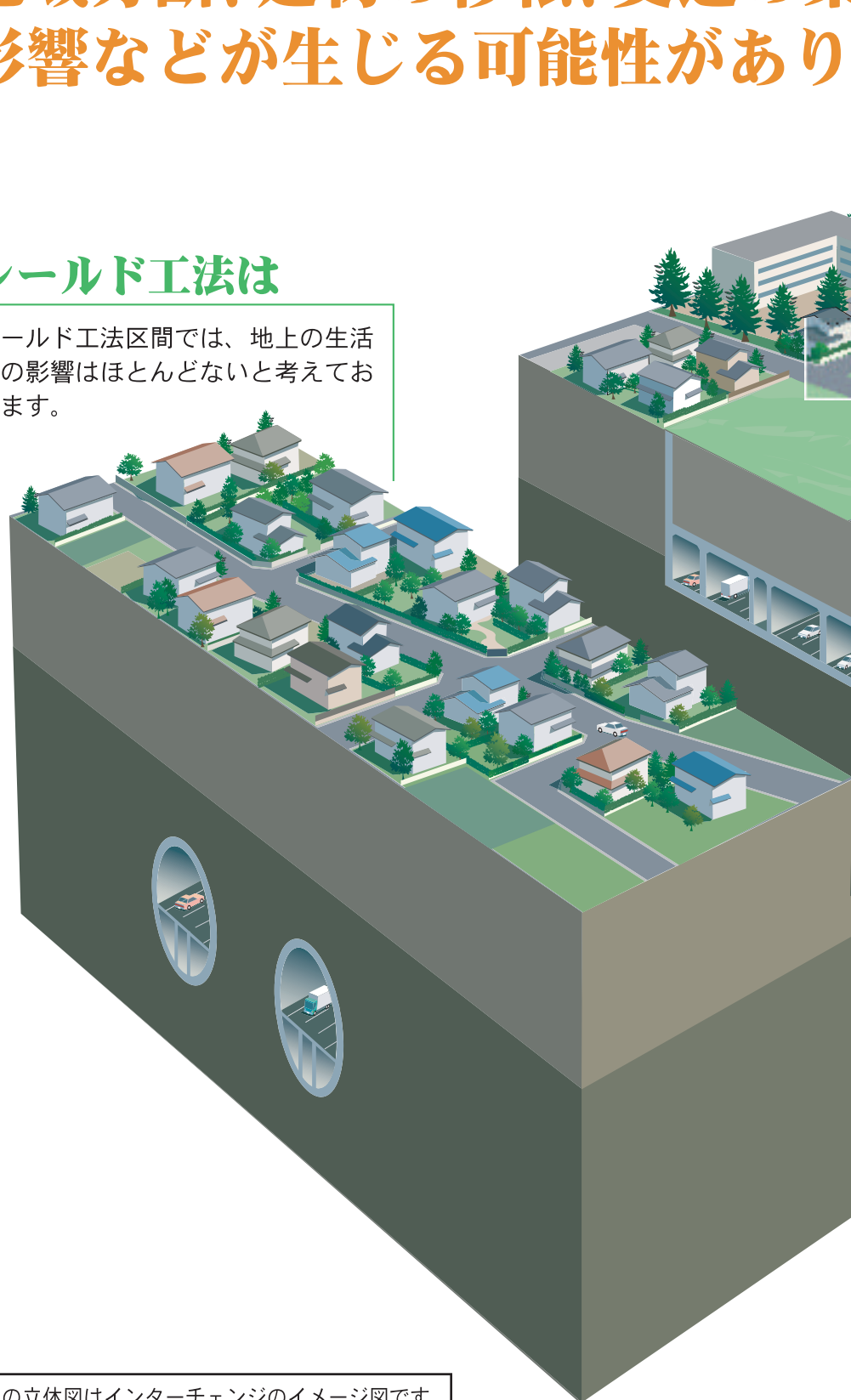
ジャンクションやインターチェンジ付近における生活への影響

地域のみなさんの生活への影響を極力抑えることができるよう
シールド工法の地下方式で検討していますが、

**ジャンクションやインターチェンジ付近では
地域分断、建物の移転、交通の集中による
影響などが生じる可能性があります。**

シールド工法は

シールド工法区間では、地上の生活
への影響はほとんどないと考えてお
ります。



※この立体図はインターチェンジのイメージ図です。

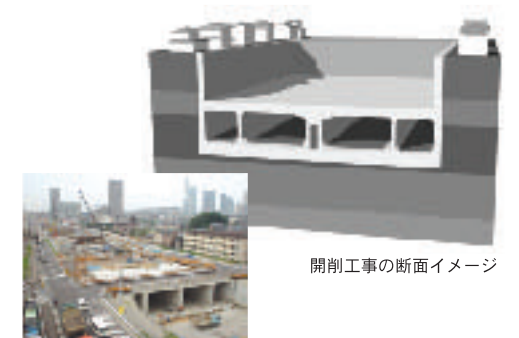
交通集中

インターチェンジ周辺では交通が集中

インターチェンジ周辺の道路では、交通
が集中するために、周辺の皆さんの生活
に影響が生じる可能性があります。

開削工法は

開削工事は、地表から掘り下げるので、
移転や地域分断が生じる可能性があり
ます。



開削工事の断面イメージ

開削工事（首都高／埼玉新都心線）

移転と地域分断

地域分断が発生

連絡路が半地下、地表となる区間では、
地域分断が懸念されます。

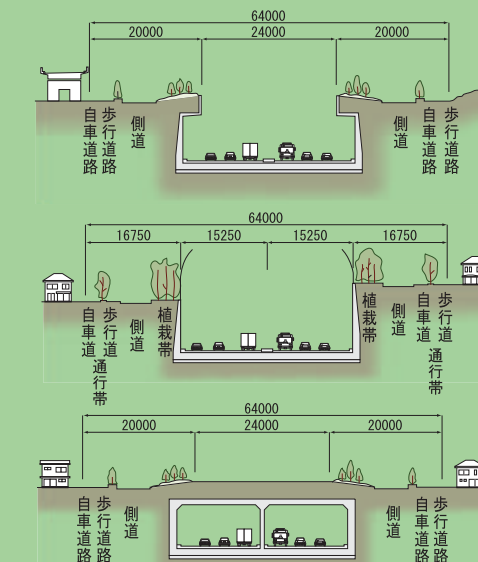
移転が必要

開削区間は、地表から掘り下げるため、
移転が必要となります。

地域分断への影響

東京外かく環状道路 （埼玉区間における対策事例）

東京外かく環状道路の
埼玉区間では、開削部
の上空に横断橋を設置
したり、埋め戻したり
することで、地域分断
による影響を極力小さく
する工夫をしています。



写真①：横断橋の事例（埼玉県和光市南2丁目）



写真②：埋め戻し部の事例（埼玉県和光市南1丁目）